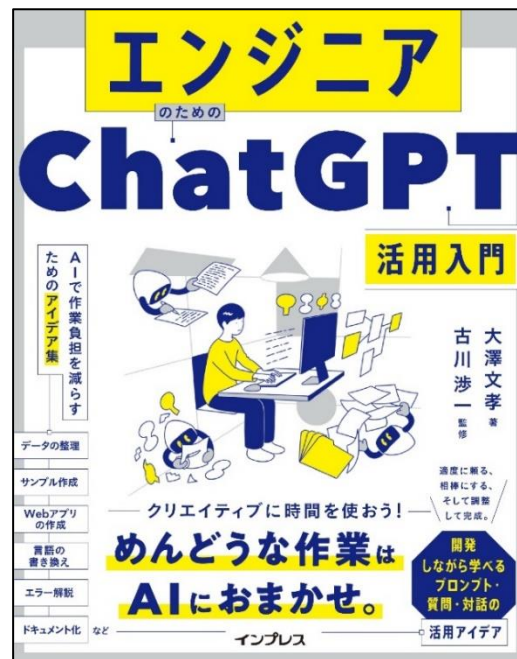


各 位

2023年12月19日
株式会社インプレス

生成 AI で開発効率を上げるためのアイデアが満載！
『エンジニアのための ChatGPT 活用入門』を
12月19日（火）に発売

インプレスグループで IT 関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋隆志）は、生成 AI のひとつ ChatGPT を用いてプログラミングの作業効率化を図るための書籍『エンジニアのための ChatGPT 活用入門 AI で作業負担を減らすためのアイデア集』を 2023 年 12 月 19 日（火）に発売いたします。



■ ChatGPTにコードを書かせ、開発作業の負担を減らすためのアイデア集

人間のように会話（チャット）をするだけで、文章や画像を自動的に作成してくれる生成AIが次々に登場し、私たちの仕事や生活の場に浸透しつつあります。中でもChatGPTは、自然な文章を生成するAIとして人気があり、公開2カ月で全世界のユーザー数が1億人に達するほど急速に利用者数が増えています。

本書は、そんなChatGPTを用いて、エンジニアのみなさんがシステムやアプリを開発する際に役立つ指示文（プロンプト）の例を豊富に紹介し、目的別にどのような指示を出すと効果的なのかをアイデア集として提示したものです。ChatGPTはプログラミングの定石を膨大に学習しているため、コードを書く作業に向いています。この特性をうまく活用すれば、コーディングの時短ができるため、本書ではWebアプリ開発、サンプルデータの作成、データの整理、言語の置き換え、ドキュメント作成など、様々な活用シーンに応じて、ChatGPTを用いて作業負担を軽減するためのアイデアを多数紹介しています。

本書を読めば、開発時にどのような指示を与えれば、望み通りの回答を引き出すことができるのか？ そのコツをたくさん知ることができます。

■有料版ChatGPT Plusにも対応！ GPT-4やプラグイン、APIの活用法も

本書では、基本的に無料版のGPT-3.5のブラウザ版をベースに解説していますが、さらに深くChatGPTを使いこなしたい方のために、有料版ChatGPT Plusの活用法にも1章分の解説ページを設けています。GPT-4、プラグイン、APIの活用法を知りたい方にも参考になる情報が満載です。

■紙面イメージ

5-1 入力エラーをチェックするコードを作ってもら

アプリ開発では、ユーザーの入力をチェックしなければならない場面が相当多いです。そこで、入力エラーをチェックするコードをChatGPTに作らせ、作業負担軽減を図っていきましょう。

入力エラーのチェック

入力エラーを、どのような仕組みで実装するのかは、アプリの構造によって異なります。本書では、これまでPHP+Laravelでシステムを作ってきたので、それを例に説明します。

×例

PHP+Laravelは、一例です。質問を変えれば、ほかの構成の入力エラーチェックのコードも作れます。

■コードを作ってもら

第4章までの作業で、「商品名」「商品の画像」「数量」「価格」を保存して管理できるシステムを作りました。このシステムにおいて、たとえば「商品名は20文字以下」「数量は500個以下」にを入力制限するようなコードを作ってもらおうとします。

入力例 (sample05_1.txt)

Laravelプロジェクトがあります。
次のように在庫を管理するモデルがあります。
商品名はproductname、数量はquantityです。

```

class Inventory extends Model
{
    use HasFactory;

    protected $fillable = [

```

```

'product_name',
'product_image',
'quantity',
'price',
];
}
...

```

次のように入力エラーのチェックをするコードを追加してください。

- 商品名を20文字以下
- 数量を500個以下

↑ 推奨アイデア

修正すべきコードを提示しつつ、例をすべきを無条件で示しましょう。

- Laravelプロジェクトであることを明示しています。
- 商品名と数量の列名を明示しています。
- 具体的なコードを記述しています。
- すべきを条件付きで指定しています。

応答例

Laravelで入力エラーのチェックを行うには、**バリデーションルールを設定する必要があります**。次のようにして、商品名を20文字以下、数量を500個以下に制限するバリデーションルールを追加できます。

```

use Illuminate\Validation\Rule;

class InventoryController extends Controller
{
    public function store(Request $request)
    {
        $request->validate([
            'product_name' => 'required|string|max:20',
            'quantity' => 'required|integer|max:500',
            'product_image' => 'nullable|image|mimes:jpeg,png,jpg,gif|max:2048', // 画像ファイルのバリデーション時
            'price' => 'required|numeric|min:0', // 価格は0以上の数値
        ]);
    }
}

```

ChatGPTから適切な回答を引き出すためのプロンプトの例を豊富に掲載

8-2 アップロードしたファイルを処理する

【高度なデータ分析】を有効にすると、ファイルをアップロードして、それらをまとめて処理できます。ソースコードの要約やドキュメント化をする場合、それらをコピーで渡す必要がなくなります。

高度なデータ分析を有効にする

オプションの設定画面にて「高度なデータ分析」を有効にしてChatGPTと会話を開始すると、チャットの入力欄に📎ボタンが表示されます。このボタンをクリックすると、**ファイルを追加でき、そのファイルに対して処理**できます。

■ 図 8-2-1 高度なデータ分析をオンにする

📎をクリックしてファイルを追加 具体的な使用例については、次章以降で説明します

複数のソースコードのファイルをまとめて要約する

実際に、ファイルに対して処理する例を見ていきましょう。

「7-1 関数やクラスを要約したドキュメントを作る」では、ソースコードをChatGPTに引用する形で貼り付けて、その概要をドキュメント化しました。また「7-2 クラス図やモジュール図、シーケンス図、データベースのエンティティ図を作る」では、それらを図にしました。ソースコードを貼り付けるのは煩雑ですし、大きなソースコードであれば、長さの制限もあります。そこで活用したいのが、この高度なデータ分析機能です。

たとえば図8-2-2のように、User.class.php、Group.class.php、Database.class.phpをZIP形式でまとめて、ChatGPTに添付します。そして、次のように尋ねます。

入力例 (sample08_2フォルダ)

添付したファイルの📎クラス図を作ってください。

↑ 推奨アイデア

■ 添付したファイルに対して処理したいときは、「添付したファイルの」として伝えます。

■ 図 8-2-2 3つのPHPファイルをまとめてChatGPTに渡す

するとたとえば、次の応答が戻ってきます。まずChatGPTは、添付されたファイルを展開して解釈を始めます。そして、ひとつめのファイルの内容から、少しずつ解説をはじめてくれます。

応答例

ChatGPT
ファイル「example.zip」から以下の3つのファイルが抽出されました：

1. 'Database.class.php'
2. 'Group.class.php'
3. 'User.class.php'

これらのファイルの内容を調べて、クラス図を作成します。それぞれのファイルの中身を見てみましょう。📎

有料版ChatGPT Plusの活用法にも1章分のページを割いて、詳細に解説

■本書は以下のような方におすすめです

- ・ ChatGPTを開発に活かすための質問・会話（プロンプト）のコツを知りたい方
- ・ 生成AIを用いて作業負担を減らすための使い道をたくさん知りたい方
- ・ コードを1行も書かずにWebアプリを作成する過程を知りたい方
- ・ 有料版ChatGPT PlusおよびAPIの活用法を知りたい方

■サンプルファイルを提供

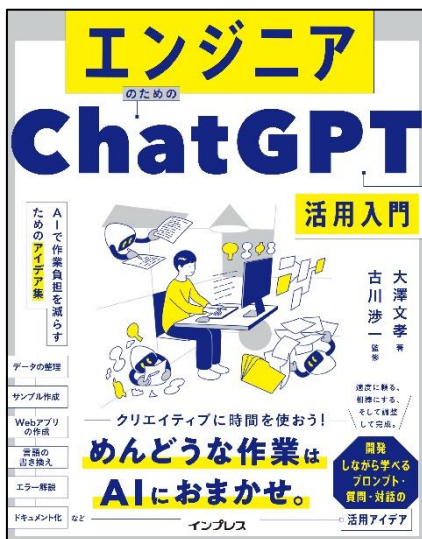
本書で紹介する質問・会話（プロンプト）の一部をテキストファイルで無償提供しています。本書のサポートページよりダウンロードしてご利用ください。

<https://book.impress.co.jp/books/1123101035>

■本書の構成

- Chapter 1 ChatGPTの基礎知識
- Chapter 2 ChatGPTを使ってみよう
- Chapter 3 [コードを書かずにアプリ開発①] ゼロからWebアプリを作るには
- Chapter 4 [コードを書かずにアプリ開発②] 在庫管理システムを仕上げよう
- Chapter 5 作業負担を軽減する小さなプログラムを作ってもらおう
- Chapter 6 データの整理と生成に活用しよう
- Chapter 7 ドキュメント作りに活用しよう
- Chapter 8 GPT-4やAPIを活用しよう

■書誌情報



書名：エンジニアのためのChatGPT活用入門 AIで作業負担を減らすためのアイデア集

著者：大澤文孝／監修者：古川渉一

発売日：2023年12月19日（火）

ページ数：304ページ

サイズ：B5変形判

定価：2,750円（本体2,500円＋税10%）

電子版価格：2,750円（本体2,500円＋税10%）※インプレス直販価格

ISBN：978-4-295-01823-0

◇Amazonの書籍情報ページ：

<https://www.amazon.co.jp/dp/4295018236/>

◇インプレスの書籍情報ページ：

<https://book.impress.co.jp/books/1123101035>

◇書影ダウンロード：<https://dekiru.net/press/501823.jpg>

■著者プロフィール

大澤文孝（おおさわ・ふみたか）／著者

技術ライター、プログラマー、情報処理資格としてセキュリティスペシャリスト、ネットワークスペシャリストを取得。Webシステムの設計・開発とともに、長年の執筆活動のなかで、電子工作、Webシステム、プログラミング、データベースシステム、パブリッククラウドに関する書籍を多数出版している。著書に『ちゃんと使える力を身につけるWebとプログラミングのきほんのきほん [改訂2版]』（マイナビ出版）、『AWSネットワーク入門 第2版（impress top gear）』（インプレス）などがある。

古川渉一（ふるかわ・しょういち）／監修者

1992年鹿児島県生まれ。東京大学工学部卒業。株式会社デジタルレシピ取締役・最高技術責任者。大学生向けイベント紹介サービス「facevent」を立ち上げ、延べ30万人の大学生に利用される。その後、国内No.1 Twitter管理ツール「SocialDog」など複数のスタートアップを経て2021年3月より現職。パワーポイントからWebサイトを作る「Slideflow」やAIライティング「Catchy（キャッチー）」を立ち上げ。著書

『先読み！IT × ビジネス講座 ChatGPT 対話型AI が生み出す未来』（インプレス）は8万部を突破。他監修多数。AI 関連の寄稿やメディア出演は100を超える。

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 7,500 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向け IT 関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL : <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。